



ふくだ  
Fukuda

滑川町立福田小学校 学校だより

10月号 令和 4年 9月27日

電話 0493-56-2651 FAX 0493-56-2643

## 奇跡のような力

その本を読む前と後で、目の前の風景が違って見える本に何冊出会えるかで人生は変わってくる」

加藤陽子書評、令和3年7月3日、毎日新聞

社会に出て一番大事なのは知的な好奇心や欲求、向上心、向学心というもののだが、そういうものの種が読書によって播かれ、育っている」

齋藤 孝、教育力(岩波新書)

読書は時間と空間を超えて著者と対話できる、ということ。遙か昔に生きたアメリカ人ともロシア人とも対話できるのですから、こんな贅沢なことはないと思います」

丹羽宇一郎、ワグダーのための仕事論(朝日新書)

私の仕事の九五％は読書です(残りの五％は執筆です)」

エマニュエル・トッド、エマニュエル・トッドの思考地図(筑摩書房)

最近、Kindleなどで電子書籍を読むことができるようになりました。私も利用してみましたが、あと何頁残っているかがわかりません。やはり紙の本で「あと少しで、こんな面白い物語が終わってしまう」などとドキドキしながら読む方が楽しいと思います。

最近そのドキドキ感を与えてくれた本に喜多川泰の「書齋の鍵」(現代書林)があります。「書齋は、心のお風呂」とありました。「多くの人は風呂に入って一日の体の汚れを落としてから寝るが、『自分の心を弱くする言葉や、心を曇らせる言葉、自信をへし折られる言葉』などにさらされた心の汚れは落とさず一日を終える人が多い。一冊の本と出会うことで、心が楽になることがある。一冊の本と出会うことで、前に進む勇気をもたらることがある。一冊の本に出会うことで、未来が少しだけ明るく見えることがある。自分の人生が楽しみになったり、人に対して優しくなれたり、新しいものの見方を教えてくれたり、自分の生きる意味を見つけ出したり、自分の生き方を180度変えるきっかけになったりすることもある。こんな本に出会うと『この本は自分のために書かれたんだ!』とってしまうほど、運命的なものを感じる。その本に出会わなければ、違う人生になっていたと思えるほど、人生の大きな転機になる」と続きます。何度も読み、共感を覚えながら一気に読みました。

この本を読んで、新聞記事で知った千葉県印西市立中学の国語教師、宮下豊さんのことを思い出しました。宮下さんは、2020年9月に舌癌のため59歳の若さでその生涯を閉じました。亡くなる前に印西市とかつて勤務した白井市に子供のための図書購入費として6,000万円を寄付しました。寄付に際し両市の教育委員会に手記を渡しました。手記には、「闘病生活は『不安や孤独、恐怖など不幸のどん底』であったが、その中での読書は『発見』と『共感』の連続だったとし『奇跡のように大きな力』で前に進ませてくれた。大いなる本の力を子供たちに知ってもらいたい」と綴られていました。

「読書習慣は人生を変える」この真理は、読書習慣を身に付けた人にしか理解できないものです。福田小学校の皆さんにこの真理を深く理解する日が訪れることを祈ります。

## 児童・保護者の活動、地域の皆様の活動



流しゼリー



不審者対応避難訓練



引き渡し訓練



稲刈り体験



授業風景 1年生「図工」



授業風景 5年生「算数」



授業風景 4年生「理科」

## 10月11月の主な行事予定 ※変更が生じる場合があります

10月 3日(月) 保護者面談開始(11日まで)  
 5日(水) 交通安全教室  
 6日(木) 5、6年生脱穀体験  
 14日(金) 全校遠足  
 19日(水) 1、2年生校外学習  
 24日(月) 校内授業研究会 5時間授業  
 25日(火) 4年生盲導犬学習会  
 26日(水) 就学時健診

11月 1日(火) 彩の国教育の日  
 2日(水) 4年生社会科見学  
 3日(祝) 文化の日  
 9日(水) 修学旅行(10日まで)  
 12日(土) 授業参観日 芸術鑑賞会  
 14日(月) 県民の日 振替休業日  
 18日(金) 校内授業研究会 5時間授業  
 23日(祝) 勤労感謝の日  
 26日(土) PTA資源回収  
 29日(火) 持久走記録会(12月2日まで)